

◇S111 奥多摩・浅間尾根 一般向き強

※浅間尾根は、甲州の塩山方面と五日市を結ぶ古い官道が通り、生活物資を運ぶ人馬が行き交った頃の名残で、古い歴史が偲ばれる尾根である。登山道には馬頭観音や石仏が多く見られる。

登り口の浅間尾根登山口は、標高が620mと高いため、比較的楽に数馬峠に登れます。

期 日 11月18日(土) 雨天は翌日

歩 行 約4時間40分

費 用 浦和基準 約3,500円

集 合 南浦和発 (7:06 発 5番線、府中本町行き) 前2号車車内

出発時間が早くなっています。

日 程 南浦和 7:06=西国分寺 7:35/7:45=立川 7:50/7:56=拝島 8:09/8:13(始発)=武蔵五日市 8:31/9:00
=(バス 1070円)=浅間尾根登山口(620m)9:50—数馬峠—一本松 930,2m—人里峠—浅間嶺 903m
—時坂峠—払沢の滝入口 280m 16:18 予定=(バス 530円)=武蔵五日市=立川=西国分寺=
南浦和(18:30頃)

地 図 昭文社 奥多摩

備 考 飲み物 昼食 マスク 雨具